

より高く、より強く、よりたくましく

より高く

目標高く、世界最高峰パラリンピックという舞台で、よりハイレベルな戦いを

より強く

世界のトップ選手たちにも引けを取らないフィジカル、メンタル、総合力での強さを

よりたくましく

どんな困難にもひるまず立ち向かう、オリンピック・パラリンピックの枠を超えて戦っていく

2016 リオパラリンピックエントリー予定表 (7月8日現在) 男子…黒文字 女子…赤文字

N O.	Name	Day1 8Sep	Day2 9Sep	Day3 10Sep	Day4 11Sep	Day5 12Sep	Day6 13Sep	Day7 14Sep	Day8 15Sep	Day9 16Sep	Day10 17Sep
		Event	Event	Event	Event	Event	Event	Event	Event	Event	Event
1	木村敬一					50mFr S11	100mBr SB11	100mFly S11	100mFr S11	200mIM SM11	
2	鈴木孝幸	200mFr S5				150mIM SM4		50mBr SB3			100mFr S5
3	山田拓郎		400mFr S9			100mFr S9	50mFr S9		100mFly S9		
4	中村智太郎			100mBr SB7							
5	小山恭輔		50mFly S6	50mFr S6							
6	成田真由美				100mBr SB4	50mFr S5			4x100mFR 34p	50mBa S5 4x100mMR 34p	100mFr S5
7	一ノ瀬メイ	100mBr SB9			200mIM SM9	100mFr S9	50mFr S9		100mFly S9 4x100mFR 34p	100mBa S9 4x100mMR 34p	
8	森下友紀		400mFr S9		200mIM SM9	100mFr S9			100mFly S9 4x100mFR 34p	4x100mMR 34p	
9	小野智華子		100mBa S11	400mFr S11		50mFr S11			100mFr S11		
10	笠本明里			200mIM SM13				50mFr SF13			100mBa S13
11	生長奈緒美		100mBa S11			50mFr S11			100mFr S11		
12	池 愛里	100mBr SB9	50mFr S10	100mBa S10		100mFly S10	100mFr S10		4x100mFR 34p	4x100mMR 34p	
13	中島啓智				200mFr S14						200mIM SM14
14	田中康大							100mBr SB14			200mIM SM14
15	津川拓也	100mBa S14									200mIM SM14
16	坂倉航季				200mFr S14						
17	宮崎 啓				200mFr S14						
18	廣田真一							100mBr SB14			
19	林田泰河							100mBr SB14			

知っとこ!
パラスイムクイズ!!

1964年東京パラリンピックでは、視覚障がい者の
全盲のクラスで45m自由形での競技があった?

※答えは日本身体障がい者水泳連盟HPまで! <http://paraswim.jp/>

発行元



一般社団法人
日本身体障がい者水泳連盟



一般社団法人
知的障害者水泳連盟

2016 リオデジャネイロパラリンピック 日本代表選手名鑑

T●BIUO
PARA JAPAN

内部資料

2016 リオデジャネイロパラリンピック 日本代表選手

T●BIUO
PARA JAPAN



●生まれ年／
1991.04 ●住所／
東京都豊島区

●所属／
NTTドコモ

●クラス／
S9/SB8/SM9

●出場種目／
50Fr, 100Fr, 400Fr, 100Fly

●出場回数／
4回目

●過去の成績／
北京 100Fr 5位、ロンドン 50Fr 4位
2014 アジアパラ 50Fr 1位
2015 世界選手権 50Fr 2位

●IPC-SW世界ランキング(6月7日現在)／
50Fr 5位

キャプテン
Takuro Yamada
山田拓朗



●生まれ年／
1987.12 ●住所／
東京都東久留米市

●所属／
日鉄住金P&E

●クラス／
S6/SB6/SM6

●出場種目／
50Fr, 50Fly

●出場回数／
3回目

●過去の成績／
北京 50Fly 2位、ロンドン 50Fly 3位
2015 世界選手権 50Fly 5位

●IPC-SW世界ランキング(6月7日現在)／
50Fly 4位

Kiyosuke Oyama
小山恭輔



●生まれ年／
1984.07 ●住所／
和歌山県橋本市

●所属／
日阪製作所

●クラス／
S6/SB6/SM6

●出場種目／
100Br

●出場回数／
4回目

●過去の成績／
アテネ 100Br 3位、北京 100Br 5位
ロンドン 100Br 2位
2015 世界選手権 100Br 7位

●IPC-SW世界ランキング(6月7日現在)／
100Br 7位

Tomotaro Nakamura
中村智太郎



●生まれ年／
1989.02 ●住所／
神奈川県横浜市

●所属／
宮前ドルフィン

●クラス／
S14/SB14/SM14

●出場種目／
100Br

●出場回数／
初出場

●過去の成績／
2014 アジアパラ 100Br 5位
2015 INAS-FID グローバル大会 100Br 5位

●IPC-SW世界ランキング(6月7日現在)／
100Br 18位

Taiga Hayashida
林田泰河



●生まれ年／
1990.09 ●住所／
東京都世田谷区

●所属／
東京ガス

●クラス／
S11/SB11/SM11

●出場種目／
50Fr, 100Fr, 100Fly, 100Br, 200IM

●出場回数／
3回目

●過去の成績／
北京 100Fr 5位
ロンドン 100Br 2位、100Fly 1位
2015 世界選手権 100Fly 1位、100Br 1位

●IPC-SW世界ランキング(6月7日現在)／
100Fly 1位

Keiichi Kimura
木村敬一



●生まれ年／
1997.08 ●住所／
三重県津市

●所属／
津トップスイミングクラブ

●クラス／
S14/SB14/SM14

●出場種目／
200Fr

●出場回数／
初出場

●過去の成績／
2015 Cam-Am Open Championships 200Fr 1位
2016 INAS Swimming Championships - Asia 200Fr 3位

●IPC-SW世界ランキング(6月7日現在)／
200Fr 12位

Koki Sakakura
坂倉航季



●生まれ年／
1996.04 ●住所／
大阪府堺市

●所属／
大阪およう会

●クラス／
S14/SB14/SM14

●出場種目／
100Br

●出場回数／
初出場

●過去の成績／
2015 Cam-Am Para-Swimming 100Br 1位
2016 INAS Swimming Championship - Asia 100Br 1位

●IPC-SW世界ランキング(6月7日現在)／
100Br 15位

Shinichi Hirota
廣田真一



●生まれ年／
1992.08 ●住所／
北海道札幌市

●所属／
あいおいニッセイ同和損保

●クラス／
S14/SB14/SM14

●出場種目／
200Fr

●出場回数／
初出場

●過去の成績／
2015 世界選手権 200Fr 7位
2016 INAS Swimming Championship - Asia 200Fr 4位

●IPC-SW世界ランキング(6月7日現在)／
200Fr 14位

Satoru Miyazaki
宮崎哲



●生まれ年／
1987.01 ●住所／
千葉県浦安市

●所属／
GOLDWIN

●クラス／
S5/SB3/SM4

●出場種目／
100Fr, 200Fr, 50Br, 150IM

●出場回数／
4回目

●過去の成績／
アテネ メドレーリレー 2位、北京 50Br 1位
ロンドン 50Br 3位、150IM 3位
2015 世界選手権 50Br 2位

●IPC-SW世界ランキング(6月7日現在)／
50Br 2位

Takayuki Suzuki
鈴木孝幸



●生まれ年／
1989.10 ●住所／
千葉県千葉市

●所属／
気愛水泳塾

●クラス／
S14/SB14/SM14

●出場種目／
100Br, 200IM

●出場回数／
2回目

●過去の成績／
ロンドン 100Br 1位
2015 世界選手権 100Br 2位

●IPC-SW世界ランキング(6月7日現在)／
100Br 4位

Yasuhiro Tanaka
田中康大



●生まれ年／1970.08 ●住所／神奈川県川崎市

●所属／横浜サクラ

●クラス／S5/SB4/SM5

●出場種目／50Fr、100Fr、100Br、50Ba、4×100R MR

●出場回数／5回目

●過去の成績／アトランタ～北京 金15、銀3、銅2、計20獲得

●IPC-SW世界ランキング(6月7日現在)／50Fr 7位

副キャプテン
Mayumi Narita
成田真由美



●生まれ年／1970.10 ●住所／大阪府貝塚市

●所属／大阪およう会

●クラス／S11/SB11/SM11

●出場種目／50Fr、100Fr、100Ba、200IM

●出場回数／3回目

●過去の成績／北京 50Fr 5位、ロンドン 400Fr 6位
2015 世界選手権 50Fr 6位

●IPC-SW世界ランキング(6月7日現在)／50Fr 11位

生長奈緒美



●生まれ年／1998.09 ●住所／東京都新宿区

●所属／峰村PSS東京

●クラス／S10/SB9/SM10

●出場種目／100Ba、100Br、50Fr、100Fr、100Fly、4×100R MR

●出場回数／初出場

●過去の成績／2014 アジアパラ 50Fr 1位
2015 世界選手権 100Ba 7位

●IPC-SW世界ランキング(6月7日現在)／100Ba 16位

Airi Ike
池愛里



●生まれ年／1997.03 ●住所／京都府京都市

●所属／近畿大学

●クラス／S9/SB9/SM9

●出場種目／200IM、100Br、50Fr、100Fr、100Ba、100Fly、4×100R MR

●出場回数／初出場

●過去の成績／2014 アジアパラ 200IM 2位
2015 世界選手権 100Fr 6位

●IPC-SW世界ランキング(6月7日現在)／200IM 13位

Mei Ichinose
一ノ瀬メイ



●生まれ年／1994.10 ●住所／東京都目黒区

●所属／あいおいニッセイ同和損保

●クラス／S11/SB11/SM11

●出場種目／100Ba、50Fr、100Fr、400Fr

●出場回数／2回目

●過去の成績／ロンドン 100Ba 8位
2014 アジアパラ 100Fr 3位
2015 世界選手権 100Ba 4位

●IPC-SW世界ランキング(6月7日現在)／100Ba 7位

Chikako Ono
小野智華子



●生まれ年／1985.10 ●住所／兵庫県神戸市

●所属／神戸楽泳会

●クラス／S13/SB13/SM13

●出場種目／200IM、50Fr、100Ba

●出場回数／2回目

●過去の成績／北京 100Ba 7位
2015 世界選手権 200IM 6位

●IPC-SW世界ランキング(6月7日現在)／100Ba 10位

Akari Kasamoto
笠本明里



●生まれ年／1996.09 ●住所／千葉県松戸市

●所属／千葉ミラクルズ

●クラス／S9/SB9/SM9

●出場種目／100Fly、100Fr、400Fr、200IM、4×100R MR

●出場回数／初出場

●過去の成績／2013 アジアユースパラ 400Fr 1位
2014 アジアパラ 200IM 3位
2015 CamAm 200Fly 1位

●IPC-SW世界ランキング(6月7日現在)／100Fly 15位

Yuki Morishita
森下友紀

監督・コーチ・スタッフ

■監督・ヘッドコーチ 総合大会参加回数／6回



●生まれ年／1971.07

●住所／東京都中野区

●所属／MINEMURA ParaSwim Squad

●ヘッドコーチ

Fumiyo Minemura
峰村史世

■コーチ 総合大会参加回数／6回



●生まれ年／1971.10

●住所／岐阜県瑞浪市

●所属／岐阜県立恵那特別支援学校

●高等部教諭

Atsushi Miyamoto
宮本敦史

■コーチ 総合大会参加回数／1回



●生まれ年／1984.12

●住所／神奈川県横浜市

●所属／慶應義塾大学

●政策・メディア研究科特任助教

Tetsuro Tanigawa
谷川哲朗

■コーチ 総合大会参加回数／1回



●生まれ年／1974.12

●住所／千葉県野田市

●所属／東京学芸大学附属特別支援学校

●高等部進路指導主事

Kunio Odaka
尾高邦生

■コーチ 総合大会参加回数／6回



●生まれ年／1959.07

●住所／東京都墨田区

●所属／筑波大学附属視覚特別支援学校

●体育科教諭

Masato Teranishi
寺西真人

■コーチ 総合大会参加回数／2回



●生まれ年／1985.04

●住所／岐阜県各務原市

●所属／岐阜県立岐阜希望が丘特別支援学校

●中学部教諭

Yoshiaki Takahashi
高橋良彰

■競技総務兼コーチ 総合大会参加回数／1回



●生まれ年／1982.09

●住所／兵庫県芦屋市

●所属／伊丹市立伊丹高校

●教諭

Masaki Kitajima
北島正樹

■総務兼コーチ 総合大会参加回数／3回



●生まれ年／1968.12

●住所／山梨県甲府市

●所属／山梨学院大学

●スポーツ学部教授

Yumiko Taniguchi
谷口裕美子

■総務兼コーチ 総合大会参加回数／5回



●生まれ年／1965.06

●住所／静岡県焼津市

●所属／特定非営利活動法人パシフィック・ドルフィン

●理事長

Shinobu Suzuki
鈴木しのぶ

■トレーナー 総合大会参加回数／6回



●生まれ年／1971.01

●住所／東京都羽村市

●所属／東京スポーツレクリエーション専門学校

●トレーナー学科専任教員

Keisuke Koizumi
小泉圭介

■トレーナー 総合大会参加回数／5回



●生まれ年／1978.03

●住所／神奈川県横浜市

●所属／日本スポーツ振興センター

●ハイパフォーマンスサポート事業(パラリンピック)

Tsuyoshi Yoshizawa
吉沢剛

■クラス分け／メディカル 総合大会参加回数／1回



●生まれ年／1980.04

●住所／広島県広島市

●所属／医療法人ハートフルアマンリハビリテーション病院

●リハビリテーション部

Masako Yoshioka
吉岡政子

■コンディショニングサポート 総合大会参加回数／1回



●生まれ年／1979.06

●住所／神奈川県川崎市

●所属／川崎市北部地域療育センター

●リハビリテーション部

Shiho Nakamura
中村志保

■テクニカルアドバイザー 総合大会参加回数／2回



●生まれ年／1967.05

●住所／東京都新宿区

●所属／一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟

●技術委員

Nobuko Konishi
小西暢子

■レース観察 総合大会参加回数／4回



●生まれ年／1964.02

●住所／兵庫県神戸市

●所属／神戸市立工業高等専門学校

●副校長

Masahiro Terada
寺田雅裕

日本選手団は、次のような方々にもサポートいただいています

チーム支援スタッフ

青木隆明【ドクター】 生田泰志【レース分析】 長友美智子【コンディショニングサポート】
森井貴志【国内総務】 及川栄子【知的連盟役員】 新井静【知的連盟事務局】

個別支援コーチ／トレーナー／ドクター／スタッフ

野口智博 高城直基 森近久子 八尋大 山本晴基 上野恭慶 榎本仁 津川正広 富築一行 佐伯航
稗田律子 小野正之 藤山将哉 白戸篤志 島樹 打田剛敏 小沢邦彦 棟石理美 内田泰彦

選手のクラスって？ 泳法の例外って？

選手には、それぞれ国際基準の競い合うクラスが与えられています。
 選手の障がいは様々です。肢体不自由や視覚障がいは競技は障がいも異なっても「同じ程度の障がい」ごとにクラスを分けて競います。知的障がいは一つのクラスで競います。
 クラスを決めることを「クラス分け」と言います。知的障がいのクラス分けは知的障がいかどうかの認定のテストになります。
 パラリンピックでは、次のように分類されています。

障がいの種類	クラス番号	障がいの程度
肢体不自由 切断・脊髄損傷 脳性まひ 等	1	 重度 軽度
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
視覚障がい	11	 重度 軽度
	12	
	13	
知的障がい	14	

クラスは泳法別に与えられます。

泳法	クラス種目表記
自由形	S(スイムの略)
背泳ぎ	
バタフライ	
平泳ぎ	SB(スイムプレストの略)
個人メドレー	SM(スイムメドレーの略)

これに加えて、選手にはルールの特例事項が与えられます
 競技プログラムなどで、選手ごとにA、T、1・2・3・・・といった記号数字が記載されていますが、これは、健常者の水泳規則を基本とした場合の特例事項を表しています

例えば、健常者の水泳規則では、介助者は認められていませんが、障がいによっては必要な場合があります。そういった時には「A(介助が必要)」という記号が与えられています。また、平泳ぎでのゴールタッチ等は両手で行わなければなりません。両上肢切断・片上肢欠損等だと両手でタッチできませんので、数字の「7—上半身の一部でタッチしても良い」という数字が付与されています。泳法審判はこのコードを見て正しい泳法かどうかを判断します。

ルールの例外など詳細は・・・一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟のホームページをご覧ください。

(事例) 中村智太郎選手が100m平泳ぎを泳ぐ場合次のように記載されています
 中村選手は両上肢欠損の障がいです

SB7 **中村智太郎** **C** **Y,A,7**

平泳ぎの7という
クラスで競います

クラスの確定度合いを表す。「C」は確定、
「R」はしかるべき時期に再テストなど

Y／背泳ぎなどスタート時、紐などを口に
咥えてスタート。
A／介助者をつけてもよい。
7／平泳ぎ・バタフライのゴールタッチな
どは両手でなく上半身の一部で良い

水泳競技の種目数、参加国数や人数は？

水泳競技では個人競技女子69、男子78、合計147種目のメダルイベント、リレー種目で5種目、計152種目が実施されます。
 参加国数や人数は、IPC-SW(国際パラリンピック委員会水泳部門)が、女子280人男子340人約合計620人の参加が可能なように参加枠数を配分しています。これには、特別な招待配分が10人分含まれており、正規の枠配分は610人分になります。
 この参加枠数は、参加標準記録を突破した選手の数などを基に算出され、各国に配分されています。その最終結果の数は、61か国女子273人、男子334人、合計607人となっています。

参加枠数の多い国は①中国62人、②ロシア53人③ウクライナとイギリス各45人、⑤オーストラリア各36人、⑥ブラジル32人、⑦アメリカ31人、⑧カナダ22人などとなっています。日本は19人で12番目の人数になります。

ロンドン大会では、74か国609人の参加でした。参加枠数の多い順は①中国51人、②ウクライナ46人、③イギリス45人、④ロシア36人、⑤オーストラリアとスペイン各35人、⑦アメリカ34人、⑧カナダ24人などとなっています。日本は16人で11番目の人数でした。

この比較から、ロンドン大会以降中国以外にロシアやブラジルといった国が力を入れてきたことがわかります。また、人数からは強い国がより多くの参加者数を獲得し、国の格差が出てきていることもわかります。

視覚障がい者のタッピングとブラックゴーグル

1. 水泳競技のタッピング

水泳競技では視覚障がいの選手はタッピング(壁を知らせる為の合図)を行います。ルールの例外事項「T」が付与されています。特にS11(視力0)のクラスの選手は全力で壁に進んで行く時、安全確保や恐怖心を取り除く為に壁の手前で体の一部に合図をすることが義務付けられています。

日本では頭を壁の手前で叩き合図を出します。個人差もあるので合図を出す距離は泳力によって異なります。他の国では壁から5mくらいのところで合図をするところもあります。

日頃の練習ではストローク数(手をかく回数)を勘定したり、ゆっくり泳いだりするのでベテランの選手では必要の無い場合もあります。競技の時には0.1秒でも速く泳ぐために必要になってきます。またターン時でも重要な要素になります。合図を出してからクイックターンをするのですからコーチと2人3脚で練習をしなければなりません。0.2秒速いと壁に足が届かずまた0.2秒遅いと壁に激突してしまい選手の記録に大きく左右します。

2. タッピングの難しさ

泳ぐスピードが速いほど、タイミングが難しいといえます。

種目ではバタフライでたたく距離感が難しいと言えます。頭が水面上であったり、水面下であったりするからです。たたく距離が近くなりすぎた場合はすばやく強くたたくなどの工夫で壁に激突するのを避ける合図をしています。

また、背泳ぎのタッピングも非常に難しいと言えます。回してくる手がタッピングの棒に引っかかる可能性が高く、また顔が上を向いているので、たたく部分が狭く、コーチとの練習の積み重ねが必要です。



3. タッピングの素材は何でできているの？

初期はモップの棒にヘルパーを付けたものでしたが、タッピング技術の進化に合わせて軽く頑丈にする為に、現在ではつり竿のグラスファイバーにウレタンの素材で作られています。



4. タッピングの長さは？

選手のレベルと種目によって異なりますが約100cmから240cmまでの長さを使い分けています。フロールは短めで100から150cm程度、その他は150から200cm程度です。

5. 他の国ではどうしている？

タッピング棒については製品の基準が無いために国々で異なります。白杖や竹竿のようなものにテニスボールを棒の先につけたり、ヘルパーやビート板の素材を加工してとりつけてたりしている国もあります。



6. 大会などで実際にタッピングをする場合の注意

大会でタッピングを行う場合、競技の前(ウォーミングアップ時等)に選手と必ず壁から1m手前で合図を出すとか、1ストローク前に合図するなど打ち合わせをしておかないと選手の実力を引き出すことが出来ません。選手の泳力によって異なるので、事前の打ち合わせや練習をして大会に臨むことが重要になります。

7. ブラックゴーグル

視覚障がいのS11選手は、光の入らない「ブラックゴーグル」の着用が義務付けられています。以前はペイントで黒く塗りつぶしたり、ガムテープを貼り付けたりしていましたが、現在ではゴーグル製作者社のご好意で特別に提供頂いています。

